

|     |       |     |         |
|-----|-------|-----|---------|
| 時 期 | 年間通して | 時 間 | 1～2時間程度 |
| 難易度 | ★☆☆   | 対 象 | どなたでも   |



## トビーの思い出万華鏡 (TMK)



### <活動の概要>

海岸に落ちている貝殻やシーグラス、山に落ちている葉っぱや木の实などを使って、若狭湾の思い出がつまった万華鏡を作る活動です。

ひとつひとつの形や色を生かして、万華鏡のケースに入れます。ビーチコーミングで拾った海ゴミも活用することができます。また、若狭めのうの石・ビーズ・おはじきなど光を通すものもあるとよりきれいになります。

万華鏡の周りも飾りつけをするなどして、創造性豊かな作品を作りましょう。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立若狭湾青少年自然の家

## 活動のねらい

- ・ 漂着物や自然のものを使い身の回りの環境に興味を持つ。
- ・ 自分の創造力をいかして、ここでしかできない表現力豊かな作品に仕上げる。
- ・ 仲間の作品を互いに鑑賞し、理解を深め合う。
- ・ 作品を完成させる喜びを味わう。
- ・ 準備から後片付けまで協力してやりとげる。

## 準備物

| 自然の家で準備しているもの          |        |     | 団体で準備するもの(一人当たりに必要な数量) |      |
|------------------------|--------|-----|------------------------|------|
| 用具名                    | 場所     | 個数  | 用具・材料名                 | 個数   |
| はさみ                    | 事務室    | 20本 | 万華鏡キット★                | 1セット |
| ブルーシート<br>(絵の具を使用する場合) |        |     | 雑巾                     | 1~2枚 |
| (特大) 9.2×7.2(m)        | プレイホール | 5枚  | 漂着物・落ち葉等               | 適量   |
| (大) 7.2×7.2(m)         | 活動用具棚⑤ | 1枚  | 新聞紙                    | 適量   |
| (中) 5.2×3.4(m)         | プレイホール | 2枚  | 絵の具やマジックペン(色を付ける場合)    | 1セット |
| (小) 2.5×1.7(m)         | 活動用具棚⑤ | 2枚  | 接着剤(飾りつけをする場合)         | 必要数  |
| (極小) 1.7×1.7(m)        | プレイホール | 4枚  |                        |      |
|                        | 活動用具棚⑤ | 2枚  |                        |      |
|                        | プレイホール | 2枚  |                        |      |
|                        | 活動用具棚⑤ | 7枚  |                        |      |

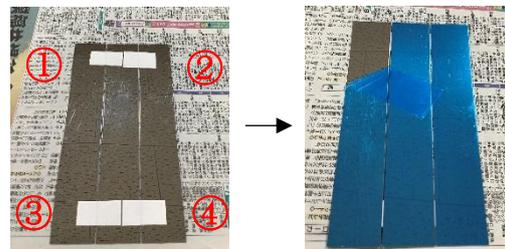
★:食堂で販売しています。必要数を事前  
注文してください。

※自然の家で準備している活動用具の数は「利用ガイド~資料編~」にも記載されています。



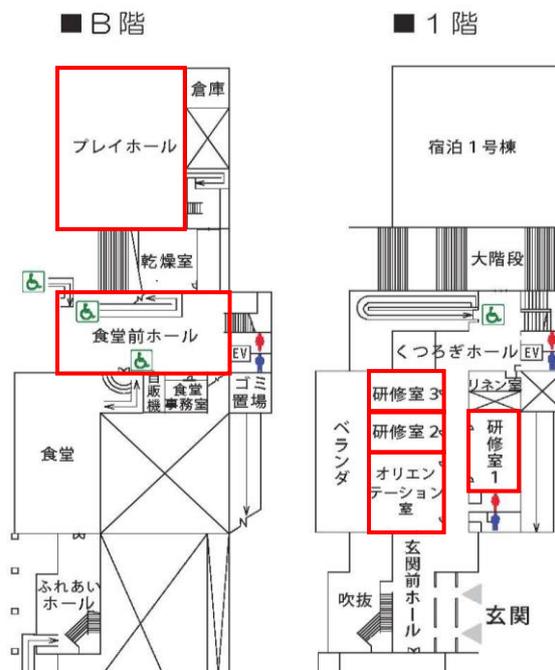
## 手順

- ① シールを6枚に切ります。
- ② 反射板を1mm程度の隙間を空けて並べ、シールをはります。  
※保護シートの付いている方を下にしてください。  
※隙間がないと、三角形に組み合わされなくなります。
- ③ 反射板を裏返して保護シートをはがします。
- ④ 保護シートが貼ってあった面を内側、  
シールを貼った面を外側にして三角に組み合わせ、  
シールで2か所を止めます。
- ⑤ ④で三角に組み合わせた反射板を紙筒の中に入れます。
- ⑥ 下キャップに、ビーズやスパンコール、花や葉っぱなど  
好きなものを入れます。  
貝殻やシーグラス、着色した砂や海ゴミなどを入れることもできます。  
ビーズやスパンコールなどを入れると、光を当てた際に綺麗です。  
※研修室や館内で絵の具を使う場合は、ブルーシートを机上や  
床の上に敷き、汚れに注意してください。
- ⑦ 色和紙を筒に貼り付けていきます。周りを飾り付けるのもおすすめです。
- ⑧ キャップが抜けかないよう強く差し込み、しっかり固定してください。
- ⑨ 完成したら、できた作品をお互いに見合しましょう。



## 活動場所

- 研修室、オリエンテーション室、プレイホールなど



## ふりかえりの視点

- できた作品をお互いに見合うことで、それぞれのよさに気づくことができたか。
- 素材を生かし、表現力豊かな作品を作ることができたか。
- 協力して準備から後片付けまでできたか。

## 指導上の留意点

- 砂浜では、外靴にはきかえて活動してください。
- 山では、長袖・長ズボンで活動してください。
- 館内で絵の具を使う場合は、新聞紙やブルーシートを敷いてください。
- 絵皿、絵筆は持参してください。
- 荒天プログラムとしても活用できます。晴れたときは、購入予定のものをキャンセルすることができます。
- 外から拾ってきたものが濡れている場合は、よく乾かしてからボンドなどで貼り付けるようにしてください。

2016年3月作成

最終更新 2024年1月